

笠間市浄化センター ともべ水処理設備工事その5

【選定理由】

本工事は、オキシデーションディッチ法の水処理施設の増設を行った工事である。笠間市友部地区の下水道整備の進展、工業団地の造成と誘致企業の操業開始に伴う流入水量の増加に対応するため、令和3年度からの増設系列の供用開始が求められていた。建設工事、設備工事が混在する現場で、非常にタイトな工期であったが、無事故・無災害で工事を完成させ、令和2年度末に実負荷での試運転まで含めて工事を完成させることができた。今回はJ S新技術である「2点DO制御システム」を採用。能力3650m³/日は、現時点で日本最大の処理能力を有する。受注者は安全協議会の幹事として、積極的に関連工事を含めた総合工程の円滑な

調整を行い、『笠間市浄化センターともべ既設設備停止項目及び影響・対応表』や『水張試験～実負荷運転までのロードマップ』を作成し、関係者の認識を図った。この増設事業は市の関心が高く、市長の議会方針演説でも触れられていたほか、市役所からも工事現場の見学が要請されていた。その要望に応えるため、現場工事を前倒しし、1月に見学会を開催し、市幹部、議員、地元住民などの参加をいただき、事業PRに貢献した。全ての工事従事者が快適に安全に勤務できるよう、さまざまな安全・環境対策を実施。女性用快適トイレの自主的な設置や、安全協議会による場内清掃、周辺道路清掃の実施、コロナ対策など、魅力アップや創意工夫が見られた。

